

2023年学術大会における大会長賞受賞者の言葉とさらなる
学会誌の発展をめざしてProspect for Advanced Cultivation on Journal of INDOOR ENVIRON-
MENT with Prize Winners at 2023 Annual Meetings of the SIEJ森田 洋^{1,3)*}, 池田四郎^{2,3)}¹⁾北九州市立大学国際環境工学部²⁾株式会社ガステック³⁾一般社団法人室内環境学会 出版委員会

2023年室内環境学会学術大会は、2023年11月30日（木）、12月1日（金）の日程で、沖縄県那覇市にある沖縄県市町村自治会館にて開催されました。「室内環境の温故知新」という学術大会のテーマのもと、シンポジウムや車室内環境分科会セミナー、学生懇談会、ランチョンセミナー、機器展示などに加えて、70件のポスター発表と84件の口頭発表が行われました。また今大会ではコロナ禍で開催中止が続いていた懇親会が2019年学術大会（この時も沖縄での開催でした）以来4年ぶりに開催されました。沖縄の食文化や芸能文化等に触れながら、参加された皆さんが有意義な時間を過ごされたことと思います。

学術大会（2009年までは研究発表会）では、これまでに大会長賞として優秀と認められた口頭発表者及びポスター発表者に対して表彰が行われてきました。現在、室内環境学会表彰委員会のほうで、表彰制度の見直しと表彰基本規程に係る策定を進めていただいておりますが、今大会では発表者の中から最も優秀であったポスター発表及び口頭発表が1件ずつ選定され、「ウェリントラボラトリーズジャパン賞」という冠で授与されました。また優秀なポスター発表及び口頭発表に対しては「優秀ポスター賞（学生会員3件、正会員・法人会員2件）」、「優秀口頭発表賞（学生会員3件、正会員・法人会員2件）」が贈られました。更に技術的・社会的に優れた正会員・法人会員の発表については「大会技術賞（2件）」が授与されました。いずれも審査委員会委員が審査基準に従い採点を行い、その結果に基づき受賞者を決

定しています。詳しい審査基準については本号に掲載されている「2023年室内環境学会学術大会大会長奨励賞決定経緯」をご覧ください。

本特集では口頭発表やポスター発表で受賞された方々の紹介も兼ねて「受賞者の言葉」をお届けしたいと思います。受賞者の方々が展開されている研究内容はもちろんのこと、着想やまとめ方などにつきましてもご覧いただければと存じます。また、ご都合により学術大会に出席できなかった会員の皆様に対しても、本特集を通じて研究発表の様子を少しでもお伝えし、会員同士の交流のきっかけを作れたらという思いも込めました。

そして今大会で発表された皆様には是非、発表内容をまとめていただき、「室内環境」誌に投稿していただきたいと考えております。

「室内環境」の査読プロセスは著者と寄り添い進めていくことを信条としております。つまりリジェクトを目的とした査読ではなく、どこを修正すればアクセプトできるかについて助言をする姿勢で取り組んでおります。出版委員会としては皆様のご研究の成果が「室内環境」に掲載されるよう、積極的なお手伝いができればと考えております。

最後になりましたが、本特集にあたっでご多忙の中にもかかわらず快く執筆をお引き受けいただきました受賞者の方々、そして本特集にご理解とご協力をいただきました2023年室内環境学会学術大会大会長の徳村雅弘先生に心より御礼を申し上げます。

*Corresponding author（責任著者） E-mail: morita@kitakyu-u.ac.jp, Tel: 093-695-3289